

# 東日本大震災復興支援金収支計算書

日本赤十字社

自：平成23年9月28日

至：平成24年3月31日

## Independent Auditor's Report

### The Japanese Red Cross Society

We have audited the accompanying special-purpose Statement of Cash Receipts and Disbursements of the Japanese Red Cross Society for the Great East Japan Earthquake Kuwait Donations, for the period from September 28, 2011 to March 31, 2012 and a summary of significant accounting policies and other explanatory information (together the "Special-Purpose Statement"). The Special-Purpose Statement has been prepared by management of the Japanese Red Cross Society based on "Financial Rules for the Statement of Cash Receipts and Disbursements of the Japanese Red Cross Society for the Great East Japan Earthquake Kuwait Donations" described in Notes 1 and 2.

#### *Management's Responsibility for the Special-Purpose Statement*

Management is responsible for the preparation of this Special-Purpose Statement in accordance with "Financial Rules for the Statement of Cash Receipts and Disbursements of the Japanese Red Cross Society for the Great East Japan Earthquake Kuwait Donations" described in Notes 1 and 2 and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of the Special-Purpose Statement that is free from material misstatement, whether due to fraud or error.

#### *Auditor's Responsibility*

Our responsibility is to express an opinion on this Special-Purpose Statement based on our audit. We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing. Those standards require that we comply with ethical requirements and plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the Special-Purpose Statement is free from material misstatement.

An audit involves performing procedures to obtain audit evidence about the amounts and disclosures in the Special-Purpose Statement. The procedures selected depend on the auditor's judgment, including the assessment of the risks of material misstatement of the Special-Purpose Statement, whether due to fraud or error. In making those risk assessments, the auditor considers internal control relevant to the entity's preparation of the Special-Purpose Statement in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the entity's internal control. An audit also includes evaluating the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the Special-Purpose Statement.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our audit opinion.

#### *Opinion*

In our opinion, the Special-Purpose Statement for the period from September 28, 2011 to March 31, 2012 is prepared, in all material respects, in accordance with "Financial Rules for the Statement of Cash Receipts and Disbursements of the Japanese Red Cross Society for the Great East Japan Earthquake Kuwait Donations" described in Notes 1 and 2.

#### *Basis of Accounting*

Without modifying our opinion, we draw attention to Notes 1 and 2 to the Special-Purpose Statement, which describes the basis of accounting. The Special-Purpose Statement is prepared to provide information to Kuwait Government and Ministry of Economy, Trade and Industry to comply with "Financial Rules for the Statement of Cash Receipts and Disbursements of the Japanese Red Cross Society for the Great East Japan Earthquake Kuwait Donations" referred to above. As a result, the Special-Purpose Statement may not be suitable for another purpose. Our report is intended solely for the Japanese Red Cross Society, Kuwait Government and Ministry of Economy, Trade and Industry, and should not be used by parties other than the Japanese Red Cross Society, Ministry of Economy, Trade and Industry and Kuwait Government.

*Ernst & Young ShinNihon LLC*

June 13, 2012

東日本大震災復興支援金収支計算書

(単位：円)

	自 平成23年9月28日 至 平成24年3月31日	
1. 収入		
復興支援金収入		40,066,027,141
収入合計		40,066,027,141
2. 支出		
復興支援金支出		40,066,027,141
岩手県	8,401,632,819	
宮城県	16,185,498,518	
福島県	15,478,895,804	
支出合計		40,066,027,141
3. 収支差額		0

## 1. 東日本大震災復興支援金収支計算書作成の基礎

本収支計算書は、東日本大震災の被災者支援を目的にクウェート政府から日本政府に無償提供された原油の売却代金相当額として、石油元売会社を通じて日本赤十字社（以下、「当社」という。）に寄託された資金（以下、「復興支援金」という。）に係る平成23年9月28日から平成24年3月31日までの収支の結果について、クウェート政府及び経済産業省に対する報告に資することを目的として作成される。

本収支計算書は、それ以外の目的に適合するものではなく、例えば、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を表示することを目的とした財務諸表に相当するものではない。

当社は、経済産業省より、クウェート政府から無償提供された原油を活用した被災地復興事業の実施について依頼を受けたことから、復興支援金の寄託を受け、この震災において特に被害の甚大であった岩手県、宮城県及び福島県における復興事業に活用するための資金として、当該三県に送金している。

## 2. 重要な会計方針

### （1）復興支援金収入

東日本大震災の被災者支援を目的にクウェート政府から日本政府に無償提供された原油の売却代金相当額として、石油元売会社を通じて当社に入金された金額であり、入金時に計上している。

### （2）復興支援金支出

復興支援金収入を原資として、岩手県、宮城県及び福島県に送金された金額であり、支出時に計上している。

### （3）収支差額

復興支援金収入から復興支援金支出を差し引いた金額を計上している。

# 独立監査人の報告書

日本赤十字社 御 中

当監査法人は、日本赤十字社の平成23年9月28日から平成24年3月31日までの期間の特別の目的で作成された東日本大震災復興支援金収支計算書（重要な会計方針及びその他の注記を含む。）について監査を行った。東日本大震災復興支援金収支計算書は、注記1及び2に記載の日本赤十字社東日本大震災復興支援金収支計算書作成要領に従って理事者が作成したものである。

## 東日本大震災復興支援金収支計算書に対する理事者の責任

理事者の責任は、注記1及び2に記載の日本赤十字社東日本大震災復興支援金収支計算書作成要領に従って東日本大震災復興支援金収支計算書を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない東日本大震災復興支援金収支計算書を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から東日本大震災復興支援金収支計算書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、国際監査基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人が職業倫理の規程を遵守すること、及び当監査法人に東日本大震災復興支援金収支計算書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、東日本大震災復興支援金収支計算書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、監査人の判断により、不正又は誤謬による東日本大震災復興支援金収支計算書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、東日本大震災復興支援金収支計算書の作成に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての東日本大震災復興支援金収支計算書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、平成23年9月28日から平成24年3月31日までの期間の東日本大震災復興支援金収支計算書が、すべての重要な点において、注記1及び2に記載の日本赤十字社東日本大震災復興支援金収支計算書作成要領に従って作成されているものと認める。

## 強調事項

東日本大震災復興支援金収支計算書の注記1及び2に記載されているとおり、東日本大震災復興支援金収支計算書は、上記の日本赤十字社東日本大震災復興支援金収支計算書作成要領に従ってクウェート政府及び経済産業省に報告するために作成されており、したがって、それ以外の目的には適合しないことがある。当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。当報告書は、日本赤十字社及びクウェート政府及び経済産業省のみを利用者として想定しており、日本赤十字社、クウェート政府及び経済産業省以外に利用されるべきものではない。

新日本有限責任監査法人  
平成24年6月13日